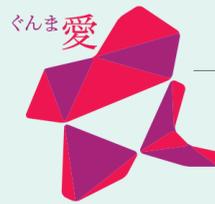


笑顔でつながる福祉の村



上野村

本県の最西端に位置する上野村。人口は1064人(2023年3月1日現在)と県内で最も少ない。そんな小さな村だからこそ「一人一人の顔が見える福祉」を提供している。

同村は人口の約2割が移住者。村内で、さまざまな仕事や地域活動で活躍している。その中でも村の社会福祉協議会は、多くの移住者が働く職場の一つ。同村の父エリアに、高齢者集合住宅「生活福祉センター」や、介護福祉センター



各施設をつなぐ連絡通路中央にあるラウンジ塔



施設利用者と職員ら

村民の声

黒澤 安男さん(73) 生活福祉センター調理責任者

高齢者においしい食事を

都内のレストランで修業し、Uターンして村内の国民宿舎で料理人として働いていた。定年退職後に生活福祉センターで調理責任者として働く。高齢者住宅と介護福祉施設、デイサービス利用者の食事に加え、村内高齢者宅へ向けた配食サービスの調理も任されている。村の高齢者は食べ慣れた和食を好むので味付けはシンプルに、だしの風味でおいしく食べさせてもらえるよう工夫している。調理場は、自身と村の女性8人ほどが365日ローテーションを組んで働く。昼食は70食、朝夕40食ほど用意する。平均年齢は70歳前後。大変な仕事だが、利用者から「おいしかった」と声をかけられるとうれししいし、やりがいを感じる。体が動く限り、おいしい食事を提供したい。



黒澤 藍さん(27) 障がい者活動支援センター指導員

見守られながら子育て

村出身の夫との結婚を機に、生まれ育った長野原町から移り住んだ。6歳の長男と4歳の長女、2歳の次女の3人を村の保育所に預けながら「すこやかセンター」の障がい者活動支援センターで指導員をしている。保育所は2人目妊娠中から上の子を預けることができ、少人数でアットホームな雰囲気。子どもはよく風邪をひくので、診療所にはお世話になっている。都合がつけば時間外も診察してくれるので助かっている。「すこやかセンター」の育児サークルにも参加していて、ママ友との大切な情報交換の場になっている。村での子育ては、たくさんの人に見守られて孤独を感じることがない。子どもたちは自然の中で元気に育つてほしい。

右から黒澤さん、次女の光桜ちゃん、長女の潤菜ちゃん、長男の叶篤君

湯澤 誠さん(42) 地域包括支援センター・ケアマネジャー

一人一人の心寄り添う

埼玉真久喜市から妻の出身地の上野村に移住した。ケアマネジャーの資格を持つこともあり、地域包括支援センターで働いている。業務は多岐にわたるが、村の人の支えもあって日々励んでいる。困っている人を放っておけない村民気質や互いに顔の見える関係も手伝って、村の福祉は一人一人の心に寄り添うことができていると思う。「誰ひとり取り残さない」とは、村では以前から普通のことだ。医療、福祉、介護の機能を集約したことで、各専門職が結束し、力を発揮できる環境が整っている。ワンストップで対応できるので、村民も安心だ。人口減の時代に簡単なことではないが、村の持つ力を引き出せば、この先の困難も乗り越えられると信じている。



共助根付く温かな福祉

上野村長 黒澤 八郎

上野村は皆で一体となって、住み慣れた場所で、いつまでも生き生きと元気に暮らせる村を目指しています。そのために進める、子どもからお年寄りまで全世代に向けた福祉や健康増進の取り組みは、多くの皆さんの力で成り立っています。その力の大本に、お互いが協力して

支え合うという共助の根付きと温かい心を感じています。9年前、大雪に見舞われた際も、スタッフが一步一步、雪をかき分け出勤し、食事の提供や介護サービスを途切れさせずにはありませんでした。今、その現場に移住者の皆さんの新しい力が加わっています。経験豊富なシルバー世代、専門知識を有するIターン者、地域事情を知り尽くした村出身者。相乗パワーをいただく中で、広く行き届く、きめ細やかな福祉施策を推進してまいります。

簡易型林業を国備す! 上野村森林組合 多野郡上野村大字川和989 TEL0274-59-2074

美人の湯 日帰り温泉 浜平温泉 おしの湯 TEL0274-59-3955

川の恵みのメッセンジャー!! ヤマス イワナ アユ 上野村漁業協同組合 多野郡上野村大字楢原316-1 TEL0274-59-3155

上野村で空中散歩 株式会社 上野振興公社 多野郡上野村勝山684-1 TEL0274-59-2584 http://uenomura-tabi.com

旅する上野村 人と自然がもてなす小さな村 株式会社 上野振興公社

地域の力 応援キャンペーン ぐんま愛 協賛社

Grid of logos for various sponsors including Earth Care, Aioi Credit, Aizawa, Kirin, Asahi Credit, Asuka Hall, Itoya, Saito Commerce, Kaneko Seed, Daiichi Life Group, and many others.

「ぐんま愛」は、地域の課題をもとに考え、地域の魅力を発信するお手伝いをするキャンペーンです。上毛新聞社は、県内自治体と協賛企業・団体の協力を得て2016年から「ぐんま愛」を展開しています。